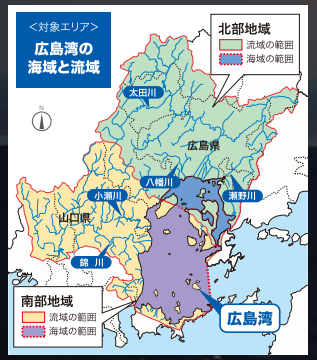
広島湾再生行動計画（第二期）策定の背景

広島湾再生行動計画（第一期）では、平成19年度から平成28年度までの10年間、目標の達成に向けた様々な取り組みを推進してきましたが、その間に、広島湾を取り巻く環境は大きく変化しているため、新たな方向性に基づく取り組みの推進が必要となっています。

これらの取り組みを効率的・効果的に推進していくためには、行政機関のみならず、市民・NPO、民間企業、研究機関、地方自治体、漁業関係者等が一体となって、官民連携による取り組みを推進することが不可欠です。

このため、広島湾では、これまでの取り組みを評価・総括し、新たな広島湾再生行動計画（第二期）を策定することとしました。



広島湾再生行動計画に関するご意見、お問い合せはこちらにお願いします。

国土交通省 中国地方整備局
企画部 広域計画課

〒730-8530 広島市中区上八丁堀6-30
TEL 082-221-9231
FAX 082-511-6359

広島湾再生プロジェクト ホームページ

http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/hiroshimawan/

タイトル 「湾のなかの湾」
撮影場所 江田島湾上空
撮　　影 写真家 脇山 功

発行年月 平成29年3月

広島湾再生行動計画 II

HIROSHIMA BAY RENAISSANCE PROJECT
SECONDARY STAGE

私たちの広島湾を次世代へ

広島湾再生推進会議

森・里・川・海の繋がりを活かして、人々が豊かさを享受　できる広島湾を実現し、次世代へ継承を。

広島湾再生行動計画 II

広島湾再生行動計画（第一期）の評価

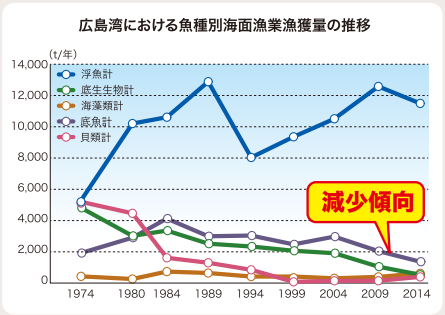
HIROSHIMA BAY RENAISSANCE PROJECT SECONDARY STAGE

水環境の再生、生物生息環境の保全・再生

汚水処理対策、底質改善、干潟・藻場の保全・再生等の施策の実施により、北部海域における赤潮発生回数の減少、透明度の改善などの一定の効果が見られましたが、**依然として一部の海域では夏季に貧酸素水塊が見られる**ことから、海底付近の溶存酸素量（底層DO）を改善するための取り組みが必要です。

近年、海面漁獲量は一部の魚種を除き減少傾向にあります。このため、新たに瀬戸内海環境保全基本計画に盛り込まれた視点を踏まえつつ、豊かな海の実現に向けた施策を推進していくことが必要です。

藻場造成



出典：広島農林水産統計年報、山口農林水産統計年報、農林水産省中国四国農政局
注）浮魚：「まいわし」や「かたくちいわし」などのように、海面近くを回遊する魚種。底魚：「ひらめ・かれい類」や「あなご類」などのように、海の下層を主な生活の場とする魚種。底生生物：「なまこ類」や「えび・かに類」などのように、海底を生息場所とする魚種。

親水空間の創出や利活用の促進

新たな親水空間の整備や利活用の促進により、親水施設等の利用者や環境教育活動への参加者は大幅に増加しましたが、**広島湾再生の取り組みに対する地域住民の関心は高いとは言えない**ことから、さらなる広報の充実や、地域住民による自主的な活動を促進していくための仕組みづくりや支援の検討が必要です。

広島港五日市地区人工干潟の整備

自然景観、歴史・文化的資源の保全

住民参加による自然景観、歴史・文化的資源の保全に関する取り組みの推進により、ごみの無い美しい海岸が増えるなどの効果がありましたが、**一部の海岸ではごみの漂流・漂着等により景観や環境が悪化している**ことから、海ごみ対策の強化が必要です。

自然景観、歴史・文化的資源については、引き続き保全するとともに、その魅力を活かした地域の活性化が必要です。

環境教育活動（水辺の生き物調査）

海岸での漂着ごみの状況

広島湾再生行動計画（第二期）の目標

HIROSHIMA BAY RENAISSANCE PROJECT SECONDARY STAGE

広島湾再生行動計画（第二期）の目標 ▶ **森・里・川・海の繋がりを活かして、人々が豊かさを享受できる広島湾を実現し、次世代に継承する。**

第二期計画では、豊富に存在する森林から海までの距離が近く、多島美に代表される美しい自然景観や歴史・文化を形成する、他にはない広島湾の特徴を活かし、多様な生物を育む豊かで美しい海を再生し、人々が将来にわたり誇りを持てるような広島湾を目指します。また、目標の達成に向けて、全体目標の要素を抽出・具体化した3つの個別目標を定めました。

個別目標 1
多様な生物を育む、恵み豊かな里海を創生する。

個別目標 2
人々が行き交う、賑わいと癒やしの水辺空間を創出する。

個別目標 3
自然や歴史・文化的資源を活かし、水辺の美しい景観を保全する。

計画期間：平成29年度～平成38年度（10年間）

広島湾の将来イメージ

HIROSHIMA BAY RENAISSANCE PROJECT SECONDARY STAGE

広島湾再生行動計画（第二期）の推進体制

HIROSHIMA BAY RENAISSANCE PROJECT SECONDARY STAGE

広島湾再生推進会議

幹事会 ⇔ アドバイザリーボード

陸域対策分科会
- 汚水処理対策の継続
- 河川環境の検討
- 森林環境の検討

海域対策分科会
- 貧酸素水塊改善の検討
- 水質改善の検討
- 環境配慮方策の検討
- 親水空間整備の検討
- 海ごみ対策の検討

モニタリング分科会
- モニタリング計画の作成
- モニタリングの実施と
- とりまとめ

官民連携分科会
- 官民連携組織設立準備
- 官民連携組織設立後の
- フォローアップ

連携・調整

官民連携組織
特定の課題に対する解決策の検討
広島湾再生推進会議への提言

広島湾再生推進会議のメンバー

国土交通省中国地方整備局
TEL：082-221-9231
TEL：082-511-3900（港湾空港部）
http://www.cgr.mlit.go.jp/

海上保安庁第六管区海上保安本部
TEL：082-251-5111
http://www.kaiho.mlit.go.jp/06kanku/

農林水産省中国四国農政局
TEL：086-224-4511
http://www.maff.go.jp/chushi/

水産庁瀬戸内海漁業調整事務所
TEL：078-392-2281
http://www.jfa.maff.go.jp/setouti/

林野庁近畿中国森林管理局
TEL：050-3160-6700
http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/

経済産業省中国経済産業局
TEL：082-224-5615
http://www.chugoku.meti.go.jp/

環境省中国四国地方環境事務所
TEL：086-223-1577
http://chushikoku.env.go.jp/

広島県
TEL：082-228-2111
http://www.pref.hiroshima.lg.jp/

山口県
TEL：083-922-3111
http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/

広島市
TEL：082-245-2111
http://www.city.hiroshima.lg.jp/

呉市
TEL：0823-25-3100
https://www.city.kure.lg.jp/

個別目標1 多様な生物を育む、恵み豊かな里海を創生する。

底質改善や森林整備、汚水処理対策、水産資源の保全・再生、干潟・藻場の保全・再生等の取り組みを、森・里・川・海の多様な主体が連携して推進し、水産業や親水等の多面的利用に適した、豊かな里海・広島湾の創生を目指します。

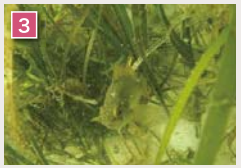
なお、これらの目標達成状況については、必要なモニタリングを実施して監視するとともに、豊かな広島湾のあり方や、そのための水質管理手法等については、第二期計画策定後も引き続き検討し、必要に応じ目標に反映していく予定です。

具体的な取り組みのイメージ

- 森林整備等
- 汚水処理対策等
- 貧酸素水塊発生海域の底質改善
- 水産資源の保全・再生
- モニタリング
- 豊かな海のあり方の検討
- 干潟・藻場等の保全・再生

森林ボランティア活動

雨水滞水池の整備


藻場の保全・再生

魚介類の放流

漁業者による干潟の管理

モニタリング（広島湾水質一斉調査）

個別目標2 人々が行き交う、賑わいと癒やしの水辺空間を創出する。

魅力ある親水空間を創出し、利活用を促進することによって、賑わいと癒やしのある広島湾を目指します。

海辺だけではなく、森や川も含めた賑わいづくりや多様な主体の連携による活動などを通して、森・里・川・海の繋がりの大切さへの理解や広島湾に対する人々の関心が高まり、広島湾の保全・再生に対して人々が積極的に参加できるような環境を目指します。

具体的な取り組みのイメージ

- 親水空間等の整備
- みなとの賑わいづくり
- クルーズ客船の誘致
- 水の都ひろしまづくり
- 環境教育・普及啓発活動
- 地域住民による自主的な活動促進の仕組みづくりや支援の実施
- 広報の強化等

「水の都ひろしま」づくり

みなとの賑わいづくり

クルーズ船の誘致

環境保全活動を行うリーダー育成

環境学習（宮島の生き物調査）

広報活動（パネル展）

個別目標3 自然や歴史・文化的資源を活かし、水辺の美しい景観を保全する。

多様な主体の連携により、広島湾の豊富な自然、歴史・文化的資源の魅力向上や活性化を図るとともに、その美しい景観を次世代へ継承していくことを目指します。

一部の海岸等では、依然としてごみの漂流・漂着や不法投棄等の不適正処理による景観の悪化が見られることから、海ごみのない美しい広島湾を目指します。

具体的な取り組みのイメージ

- 海ごみ発生抑制・清掃・回収活動の継続
- 海ごみ対策の強化
- 自然、歴史・文化的資源の保全・活用
- エコツーリズムの推進

パークボランティアによる自然環境の保全活動（宮島）

エコツアーの実施（宮島）

エコツアーの実施（柱島）

海面清掃船による浮遊ごみ回収

市民連携による清掃美化活動（宮島）

海岸で行うごみ拾いイベント（宮島）

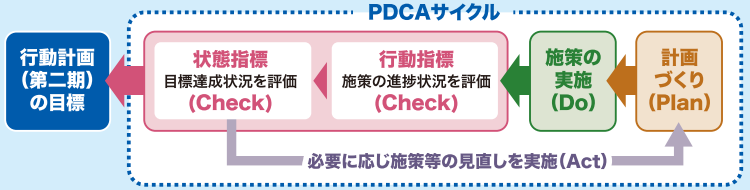
官民連携による取り組みの推進

多様な主体の参画による取り組みの活性化を図るため、官民連携組織を設置し、特定の課題に対する解決策の検討や、広島湾再生推進会議への提言を行う体制を構築します。

目標達成状況の評価

目標の達成状況は、「行動指標」「状態指標」の2種類の指標で評価します。

PDCAサイクルの導入により、必要に応じ、施策等の見直しを実施していく予定です。



※PDCAサイクル：事業活動における生産管理や品質管理等の管理業務を円滑に進める手法の一つで、Plan（計画）→ Do（実施）→ Check（評価）→ Act（改善）の4段階を繰り返すことによって、活動を継続的に改善するマネジメント手法である。

アピールポイントの設定

多くの人が訪れ、広島湾や、広島湾につながる森や川について理解が深められる場所をアピールポイントに設定しました。アピールポイントでは、情報発信や地域住民等との参加・協働による取り組みを推進していきます。

なお、アピールポイントは、今後も増やしていく予定です。

①ひろしま遊学の森（広島市森林公園・広島県緑化センター）及び広島湾流域の森林

森林に親しむイベント等、森林ボランティア活動の実施

②温井ダム周辺

エコツーリズムの推進

③京橋川、元安川、猿候川周辺

「水の都ひろしま」づくりの推進

④広島港

五日市地区人工干潟、クルーズ客船の誘致の推進、みなとの賑わいづくり事業、ベイエリアに親しむイベント等の実施

⑤厳島周辺

みなとの賑わいづくり事業、宮島周辺海岸での海岸清掃活動

⑥みなとオアシスベイサイドビーチ坂

ベイエリアに親しむイベント等の実施

⑦呉　港

ベイエリアに親しむイベント等の実施

⑧みなとオアシスえたじま

ベイエリアに親しむイベント等の実施

⑨岩国港

“クルーズやまぐち”おもてなし向上事業

⑩尾津のハス田及び地先干潟、門前川及び今津川河口

ベイエリアに親しむイベントや野鳥観察等の実施

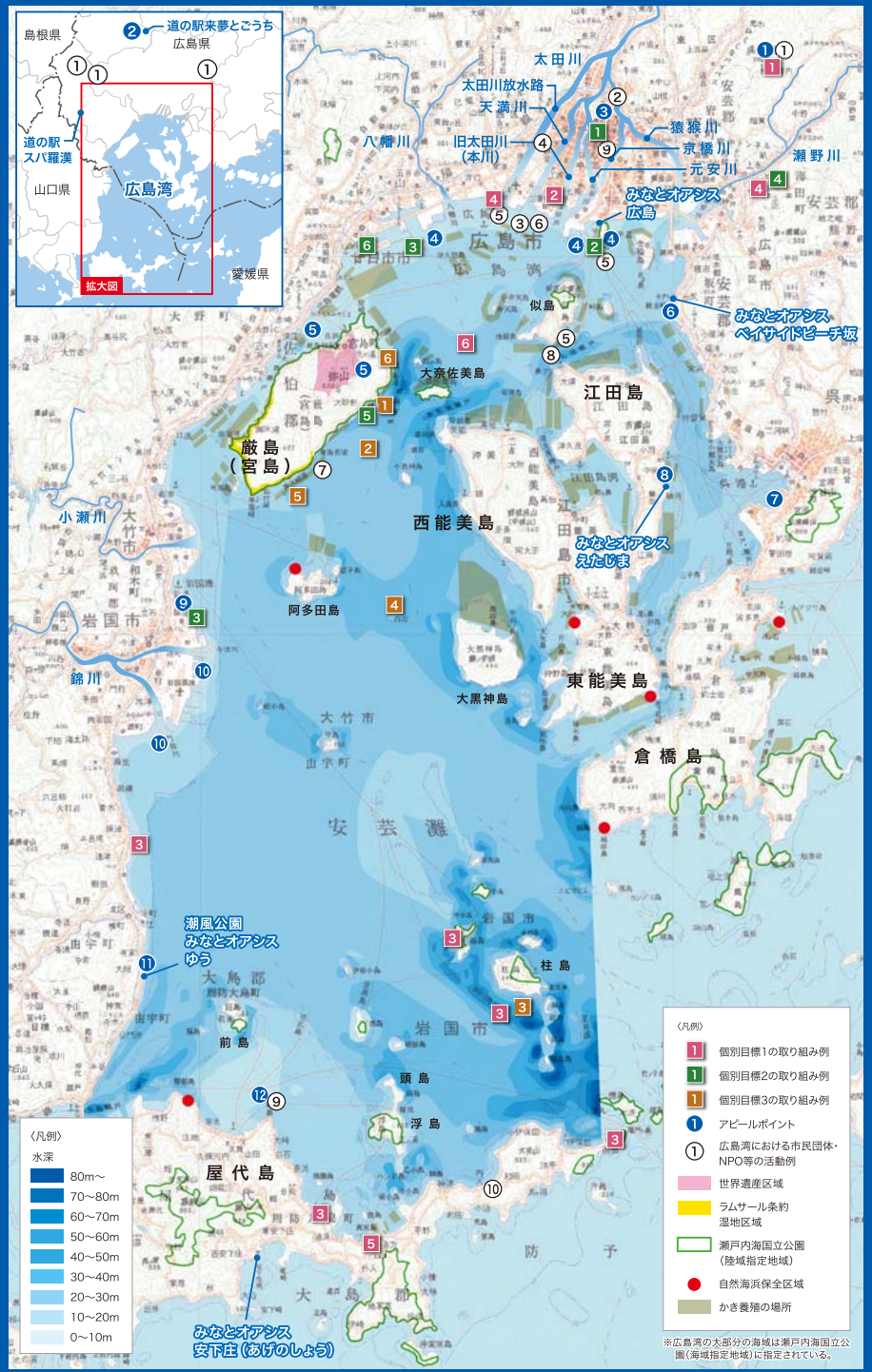
⑪潮風公園みなとオアシスゆう

ベイエリアに親しむイベント等の実施

⑫屋代島周辺

エコツーリズムやベイエリアに親しむイベント等の実施

広島湾再生行動計画（第二期）の主な取り組みマップ



※広島湾の大部分の海域は瀬戸内海国立公園（海域指定地域）に指定されている。

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　平29情複、第1515号）」
海部の地形については、第六管区海上保安本部保有のデータより描画したものである。

広島湾における市民団体・NPOの活動例

広島湾では、市民団体・NPO等による様々な環境保全活動が行われており、その一例をご紹介します。広島湾再生推進会議では、市民団体・NPOの活動を支援したり、連携による取り組みを進めていきます。

なお、このほかの市民団体・NPO等による活動についても、今後ホームページで紹介していく予定です。

NPO法人 もりメイト倶楽部Hiroshima

森林や里山における森林整備ボランティアや環境教育活動等

京橋川かいわいあしがるクラブ

京橋川をフィールドとした川との触れ合い活動、環境学習等

（公財）日本釣振興会

釣りを楽しめる豊かな水辺環境の保全活動、稚魚や卵放流による魚族資源の増殖活動など

エコロジー研究会ひろしま

太田川せせらぎ夢学習塾、リバー・エコロジー大学等、体験学習や自然体験活動リーダーの養成

広島環境サポーターネットワーク

太田川放水路、元宇品、似島等での生き物調査、出前講座等

広島県釣りインストラクター連絡機構

釣りインストラクターによる釣り大会、水辺の保全活動、放流事業等

NPO法人 自然環境ネットワークSAREN

主に宮島周辺における漂着ごみ調査、環境学習、エコツアーの実施等

NPO法人 さとうみ振興会

人工干潟を中心とした環境学習、漁業者と連携した里海の保全活動等

環境省 中国環境パートナーシップオフィス（EPOちゅうごく）

NPO・市民・教育機関・企業・行政などの情報交換と交流の機会を提供する、中国地方の「環境活動の中間支援組織」

NPO法人 自然と釣りのネットワーク

釣り人とダイバーによる海底清掃、アオリイカ産卵床の設置やニホンアワサンゴの保全活動等